

ふれあいサロン(お茶のみ会)

お茶のみ会、
何しよう!

メニューが
いつも同じ!

体操が
したいけど...

みんなで楽しい
ゲームをしたい...



困ってませんか?
まずは、電話で
ご相談ください。

生活支援コーディネーターが
お手伝いします!

折り紙

まちがい探し

口腔機能
向上レク

歌と体操

ニュースポーツ

リラックス体操

脳トレドリル

ぬりえ

私たちがコーディネーターです!

新しいゲームが入りました!

- ・卓球バレー
- ・コミュニケーション麻雀
- ※高齢者や障害のある方も一緒に楽しめます!!

講 話

防災・交通安全
高齢者のこころと身体
認知症予防
介護予防...など

榎戸ひな

伊東圭太

木幡和枝

社会福祉法人 丸森町社会福祉協議会

住 所 〒981-2152 宮城県伊具郡丸森町字鳥屋48番地

電 話 0224-72-2241

E-mail marumori-syakyo@town.marumori.miyagi.jp

丸森町生活支援体制整備事業

「どうも+よいん」

ふれあいサロン版

最高の笑顔!



小斎 山ゆり会

丸 森 町
社会福祉法人 丸森町社会福祉協議会

新しいふれあいサロンの紹介



▲参加者が立てた床柱の前で記念撮影

7区ふれあいサロンに訪問させていただきました。
今回は忘年会でした！会長が1年前から作っていた小豆と女性参加者が作ったかぼちゃと白玉を入れた冬至かぼちゃを外の釜で作りふるまわれました。皆さんで頂いた後はカラオケ大会！

みんなで声を出し楽しく歌いました。それ以外には、頭の体操やグラウンドゴルフなどを行っているそうです。

冬至かぼちゃで忘年会！



▲おいしい冬至かぼちゃを調理中！

7区ふれあいサロン (丸森地区)

発足年月：平成29年9月
場所：住ヶ市集会所
開催：年12回
会費：年会費1,000円
1回ごと500円（食事代）

生活支援コーディネーターはこんな活動をしています

大張ボランティアの会研修会

平成30年9月20日、大張ボランティアの会は、高齢者の接し方やボランティア活動の役割等についての理解を深めるため、大張まちづくりセンターを会場に研修会を行いました。

町地域包括支援班の職員と丸森町社会福祉協議会の生活支援コーディネーターも研修会に参加し、大張地区の住民がお互いに支え合いながらいつまでも安心して住み続けられるには、どのようにしたら良いかを一緒に考えました。その方法の一つとして、支援が必要な高齢者等の世帯をマップ上に印をつけて、支援が必要な方と支援方法の再確認を行いました。

研修会をきっかけに、大張地区のボランティア活動が益々活発化し、地域福祉の向上につながっていくことに、より一層の期待が高まります。



▲要支援者マップの作成を行う参加者



▲「上を向いて歩こう」を皆で合唱



▲生活支援コーディネーターの役割について説明をする社協職員

生活支援コーディネーター ～Q&A～

Q 地域の支え合いはどうして大切なの？

A これからの介護保険は、自立支援だけではなく、地域における互助支援も行うことが必要になってきました。なぜならば、ボランティア活動やお茶のみサロンなどを通して、つながりが深まり、お互いに気にかけて合うことで、『介護予防』につながることを期待されているからです。



Q 生活支援コーディネーターって？

A 厚生労働省は、生活支援コーディネーターの役割について「高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援及び介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす者」と定めています。

具体的には、高齢者が住み慣れた地域で、生きがいを持って在宅生活を継続していくために「支援してほしい人」と「活動したい人」双方の住民助けあい活動を通して、誰もが社会参加できるように支援することが生活支援コーディネーターの役割と仕事になります。

忘年会だよ 全員集合！



▲皆さん元気に天寿まで…



▲和気あいあい、近況報告

上町お茶のみ会 (大内地区)

発足年月：平成29年11月
場所：大内上町集会所
開催：年11回
会費：1回500円

忘年会！年に1度のお楽しみです。
今日は、近くのお寿司屋さんから注文したご馳走をいただく日です。いつもは、介護施設に通所してなかなか参加できない人もにぎやかにおしゃべりを楽しんでいました。
普段の活動は、歌を歌ったり、体操をしながら最近の出来事など、おしゃべりを楽しんでいるそうです。